TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまの知恵　あなたの人生は神さまの力によるものですか？

コリントの信徒への手紙一 2:1-5

2024年10月19日 & 20日

余沢　武　牧師

I.　はじめに

こんにちは。今日はコリント第一シリーズ「神さまの知恵」に戻ります。コリント教会では、クリスチャン達が分裂していました。一致するようにパウロは彼らに次のことを思い起こさせます。クリスチャンとして、

1　認める：まったく罪深い自分
2　受け入れる：自分の罪への罰をイエスが十字架で受けたこと
3　求める：神の赦しと自分が変わることへの助け

神の恵みによって、私達は今までとは違った考え方をし、「イエスと交わり」「イエスのいのちを受け」「私達の人生にイエスが関わる」ことが出来ます。これが「神さまの知恵」です。これによって人間の知恵、力、生まれではなく今、私達の人生は変えられ、統一されます。

今日はなぜこの理解が誰にとっても重要なのかを見ていきます。 まず祈りましょう。

II.　あなたの人生は神さまの力によるものですか？

(1) パウロのやり方

コリント第一 2:1−2 をみましょう。「[1] きょうだいたち、私がそちらに行ったとき、神の秘義を告げ知らせるのに、優れた言葉や知恵を用いませんでした。[2] なぜなら、あなたがたの間でイエス・キリスト、それも十字架につけられたキリスト以外、何も知るまいと心に決めていたからです。」

パウロは、「理性的な話し方」を意味する「優れた言葉」も、「人間的な賢さ」を意味する「知恵」も自分の宣教では使わなかったと言います。

例えば、パウロはこんな風に言いませんでした……
もっと聖書を読めば、もっと献金すれば、もっと奉仕をすれば、こういう服を着れば、これをすれば、あれをすれば、あなたは救われます、もしくは成長します。

こういったことは、成長するときに目に見える、良い「信仰的習慣」ではありますが。あるいは、「イエスを信じれば」や「神の言葉に従えば」、欲望が満たされ、お金が増え、学業や仕事で成功します。神の祝福で得られることはありますが。

パウロは言います「なぜなら、あなたがたの間でイエス・キリスト、それも十字架につけられたキリスト以外、何も知るまいと心に決めていたからです。」

パウロが意図的に教えの焦点を向けたのは、「イエスと十字架につけられたイエス以外の何ものでもない」ことだと言い、その教えを「神の秘義」、つまり、かつては隠されていたけれど、今は神によって現された「神の計画」と呼んでいます。

何年も前、フルタイムの仕事を辞めて神学校に入学した時のことです。業は平日夜間に教会で行われていました。神学校を通じて、授業が行われている教会の掲示板を通じて、神様がアルバイトを与えてくださるかもしれないとなぜか思いました。

しかしその教会に行ってみると、確かにそこに掲示板はありました。しかし、その教会には付属の幼稚園もあったので、そこには子供達の絵しか貼られていませんでした。自分の期待は間違っていたのかと思ったちょうどその時に、クラスメイトの一人が自分は学校の副校長だと教えてくれました。

その方は私に英語教師のアルバイトをさせてくれました。最終的に神様は神学校を通して仕事を与えてくださいました。神様の恵み深いご計画に感謝します。これこそパウロが言いたかったことであり、規模は小さいものでしたが、「神の秘義」、つまり一度は隠された計画が、後に神によって私達に現されたことなのです。

パウロは、自分の宣教は「神の秘義」についてだと言います。昔は、私達のような罪人がどのように神のいのちを分かち合えるか、誰も知りませんでした。しかし今、それは明らかにされ、私たちが……

1　自分の罪を認め、イエスの十字架が自分の罰のためであったと受け入れ、イエスの赦しと助けを求めるときです。
2　そして神の恵みによって、私達は変えられます。私達は「イエスと交わり」を持ち「イエスのいのちを受

け」「私達の人生にイエスが関わる」のです。

パウロは「これが神の秘義である」と言います。かつて隠されていた神の計画が、今、神様によって私達に明らかにされたのです。これがパウロのやり方だと言います。何をするにもパウロは「これ」だけに集中するのです。

(2) パウロの宣教

3節-5節「[3] そちらに行ったとき、私は衰弱していて、恐れに捕らわれ、ひどく不安でした。[4] 私の言葉も私の宣教も、雄弁な知恵の言葉によるものではなく、霊と力の証明によるものでした。[5] それは、あなたがたの信仰が人の知恵によらないで、神の力によるものとなるためでした。」

コリントの教会にいたとき、パウロは「衰弱」していました。力も、影響力も、お金も、感心されるような地位もありませんでした。恐れに捕らわれ、ひどく不安でしたが、彼は「雄弁な知恵の言葉」を避け、「霊と力の証明」によって奉仕するよう心がけました。

私達は人々に無理やり、「私はイエスを信じます」とか「私は聖書にある確かなことをします」と言わせることも出来ます。しかし、そうするとその決断や行動は表面的なものになってしまいます。そして、その人の中に働く「聖霊の力」がみえなくなります。パウロはそれを避けたのです。

何年も前ですが、私は遊園地のジェットコースターに乗りました。発進前に、安全バーが降りて全員正しい位置で固定されました。でもなぜか私だけそうなりませんでした。そこで私は手で引き下げ、正しい位置にしました。ジェットコースターは動き出しました。

乗っている間のことを覚えています。そのバーが固定されているか心配でした。私は足を伸ばし、座席に体を固定し、安全バーに頼らないようにしました。そして無事に終えました。今でも、その安全バーが固定されていたかどうかわかりません。

しかし、ひとつ学んだことがあります。ジェットコースターの安全バーは必ず固定されていることを確認すること。手で正しい位置にして、大丈夫なふりはしない。

表面的には安全に見えるかもしれませんが、うわべだけなのです。そんな安全バーには命を救う力は全くありません。自分自身をだましているだけなのです。

「クリスチャンの信仰」において「イエスとイエスの十字架」を見ないことと同じです。つまり、自分の罪を認めず、十字架を受け入れず、赦しと変化への助けを求めないことです。

イエスを信じたことを他の人に話すかもしれません。自分の力で聖書に従おうと努力するかもしれません。ファリサイ派のように。
他の人からはクリスチャンだと思われるかもしれません。

表面だけを見れば、クリスチャンのように見えても、うわべだけなのです。そのような「クリスチャンの信仰」には私達を救う力も、変える力も全くありません。自分自身をだましているだけなのです。

いろいろな宗教を学んだ結果、キリスト教が一番魅力的だったのでクリスチャンになろうと決めた人がいます。しかし時間が経つと信仰から離れてしまいます。

クリスチャンはとても愛に溢れているから、クリスチャンになろうと決めた人もいます。 しかし後で、他のクリスチャンから不快な思いをさせられると、信仰から離れてしまいます。

クリスチャンになり、他の人に奉仕したいと言う人もいます。教会で熱心に人に仕えます。しかしその後、奉仕することに疲れて信仰から離れてしまいます。

たいていの場合、その「クリスチャンの信仰」が「イエスとイエスの十字架」に対するものではないので起こります。自分がいかに罪深く、自分のために十字架につけられたイエスをどれほど必要とし、自分を赦し変えてくださる神をどれほど必要としているかを全く理解していないのです。

というのもそういう時のキリスト教はいつも「何を考えるか」「何を行うか」「どう感じるか」ばかりだからです。「 神さまの知恵」、「神さまの力」、「イエスのいのちを頂く」ものではなかったのです。「聖霊の力」によってのみもたらされる変化を経験したことがないのです。

私達の目標は「キリスト教的なこと」を「人間的な知恵と力」で行うことではありません。私達の目標は、「神さまの知恵」と「神さまの力」によって内側から完全に変えられ、「イエスのいのち」を受け取って、「イエスの性質」を帯びて生きることなのです。

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、私はベランダに果物の樹を植えて楽しんでいます。最近はぶどうを育て始めました。ぶどうが育つためには、当然ぶどうの木とつながってなければなりません。

ぶどうに農薬を散布したり、袋をかぶせたり、日なたに置いたり、日陰に置いたりしますが、まずぶどうやぶどうの花が、ぶどうの木とつながってなければぶどうは出来ません。
ぶどうがぶどうの木から切り離された瞬間、ぶどうの成長は止まります。

成長には、木から得られる「栄養分や力」が必要なのです。他のどんな方法からも得ることが出来ないのです。

一方、ぶどうの木から最も豊富で強い「栄養分と力」を受け取っているなら、特に不必要な枝やぶどうの実が取り除かれていればなおさら、「最も大きくて輝くぶどう」を収穫することが出来ます。

クリスチャンの成長も同じです。人はたくさんの「クリスチャンらしいこと」をできますが、イエスとつながっていなければ自分の罪を認め、自分のためのイエスの死を受け入れ、赦しと変わる力を求めないのならまず、それはクリスチャンではありません。

クリスチャンがぶどうの木から切り離された瞬間
自分の罪を知ることをやめ、十字架に頼ることをやめ、赦しと変わる力を求めることをやめたらその人の成長は止まります。

成長には、「御霊の力」つまりイエスから得られる力が必要なのです。他のどんな方法からも得ることは出来ないのです。

一方、最も豊富で強い「御霊の力」を受け取っているなら、特に自分の罪を全て告白し、自分が完全に変えられるよう求めているなら、最も強い御霊の働きを受け取り、最も大きな輝く実を結ぶのです。

その人は「イエスの実」「イエスのいのち」「イエスの性質」を実らせるのです。

イエスはヨハネ 15:5 でこう言います。「私はぶどうの木、あなたがたはその枝である。人が私につながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。私を離れては、あなたがたは何もできないからである。」

これが「神さまの知恵」です。救われるために何が出来るか、成長するために何が出来るかではありません。私達が神の前にへりくだり続けるとき、私たちの中で「神さまの力がどう働くか」ということなのです。このようにして教会、家庭、職場は「一致」するのです。

パウロは言います。これが、私が注力する全てだと。これが、私が教えたこと全てだと。クリスチャン生活は、自分の中の「聖霊の力」によって「イエスの命」という実を育てることです。そのために、自分の罪を自覚し、十字架に頼り、神に赦しと変わる力を求め続けるのです。

皆さんの中には、「変わるための神の力」と「イエスにある新しいいのち」を受け取っていない人もいます。イエスの十字架上での死を自分の罪のためであると受入れ、赦しと自分を変える力をイエスに求めましょう。この「イエスにある新しいいのち」があなたの中に芽生えますように。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg4324jp

★クラス 301
私の賜物ってなんだろう？
10 月 20 日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件：クラス 201 まで修了し、TBCメンバーの方

★クラス 401
人生の使命を発見する
11 月 3 日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件：クラス 301 まで修了TBCメンバーの方

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター（2 名募集）
月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成（1名募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳（3名募集）
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4．日本語訳レイアウト&印刷（女性1名募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の操作ができる方。
英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org